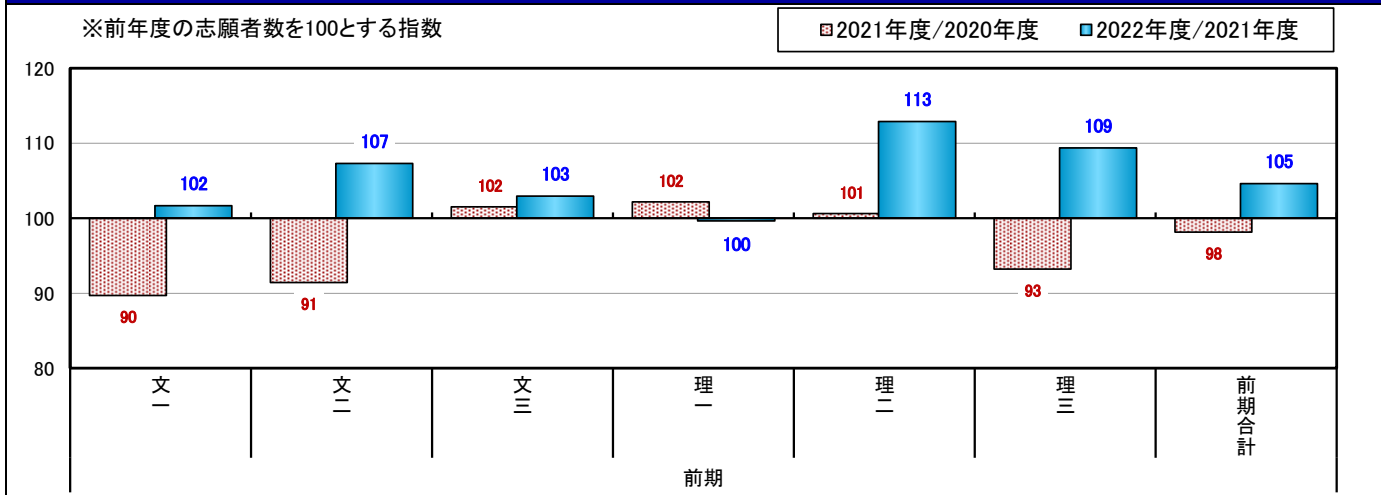


東京大：大学全体では4年ぶりに増加、理科一類を除く5つの科類が増加 前期：+418人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

前期のみの募集だが、大学全体では418人(105)のやや増加で4年ぶりの増加。文理別では、文科類が138人(104)のやや増加で3年ぶりの増加、理科類が280人(105)のやや増加で2年連続の増加。理科一類だけが微減で、他の5つの科類は増加。

<前期日程>

- 文科一類(102)は、前年度減少の反動は小さく微増。
- 文科二類(107)は、3年連続減少の反動でやや増加。
- 文科三類(103)は、前年度の微増に続きやや増加。
- 理科一類(100)は、2年連続前年度並で変化は小さい。
- 理科二類(113)は、理科一類からの志望変更による流入もあり、10%を上回る増加。
- 理科三類(109)は、前年度やや減少の反動で増加。
- 第1段階選抜合格率 ※《 》内は合格者最低点

文科一類…93.6%《520点》、文科二類…97.2%《435点》、文科三類…93.9%《595点》、文科類全体…94.7%
理科一類…93.1%《630点》、理科二類…83.6%《646点》、理科三類…80.8%《529点》、理科類全体…88.4%

- 文理別の合格率は、文科類全体は前年度よりも2.3ポイントダウン、理科類全体も4.5ポイントダウンで、2年連続で文科類の方が高い合格率となった。
- 第1段階選抜の合格者最低点は、最も高い理科二類でも得点率71.8%だった。また、第1段階選抜の合格者平均点は、東京大が入試統計データを公表した2001年度以降では、すべての科類で最も低い得点となり、共通テスト難化の影響が最上位の東京大志願者でも見られた。

<推薦入試> ※〔 〕内は前年度数値

- 募集人員100人程度に対して、志願者数は240人〔267人〕、合格者数は88人〔92人〕。
- コロナ禍の影響による出願要件を満たす受験生の減少で、前年度より志願者数は27人減少し、合格者数も4人減少した。
- 学部別合格者数：法…9人〔10人〕、経済…6人〔10人〕、文…8人〔10人〕、教育…7人〔5人〕、教養…6人〔5人〕
工…29人〔27人〕、理…11人〔12人〕、農…5人〔6人〕、薬…2人〔2人〕、医(医)…4人〔3人〕
医(健康総合科学)…1人〔2人〕
- 募集人員を充足する合格者を発表した募集単位では、前年度の8募集単位から4募集単位に半減した。
- 科類別合格者数：文科一類…9人〔11人〕、文科二類…8人〔10人〕、文科三類…18人〔18人〕
理科一類…36人〔34人〕、理科二類…13人〔16人〕、理科三類…4人〔3人〕